

令和2年度 施策評価シート

基本目標	V	区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	510	コミュニティの輪を広げ、協働によるまちをつくる
施策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす
施策の目標	地域や多様なコミュニティの活動の拠点が、地域住民の協力のもとに運営され、協働の場や機会が充実し、交流が盛んになっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「地域の交流やさまざまな活動をする場や機会が提供されている」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					75.0%					80.0%
実績	71.5%									
指標名	コミュニティ施設の利用者数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					415,000人					420,000人
実績	452,048人									

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
<p>・地域や多様なコミュニティの活動が、多くの区民により活発に展開されるためには、誰もが利用しやすい施設など活動を支える場づくりが欠かせない。また、子どもから高齢者まで多世代の区民や、様々な活動団体が交流できる仕組み(機会)を構築し、協働のネットワークを広げていくとともに、地域コミュニティ活動の活性化に資するよう、支援のあり方を時代に合った形で見直していく必要がある中、地域のニーズを踏まえながら、コミュニティ施設を再編・再配置していく必要がある。</p> <p>・「すみだまつり・子どもまつり」及び「成人を祝うつどい」は、実行委員会方式を採用し、協治ガバナンスの推進、地域力の振興に寄与している。</p>	H29	880,103
	H30	827,356
	H31	778,323

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	<p>・区民アンケートによる「地域の交流やさまざまな活動をする場や機会が提供されている」と思う区民の割合が71.5%あること、コミュニティ施設の利用者数が増加しているため。</p> <p>・「すみだまつり・子どもまつり」及び「成人を祝うつどい」は、各事務事業において代替性は低い必要性はあるが、より効果的な運営を図る必要がある。</p>

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
<p>・ハードとしての「場」であるコミュニティ施設は、地域のニーズを踏まえながら、既存の施設を再編・再配置していく必要がある一方、地域の交流機会を提供するソフト面としての「場」づくりも積極的に進めていく必要があることから、地域コミュニティの活性化のために、各種事業の見直し・支援のあり方などを時代に合った形で見直していく。</p> <p>・「すみだまつり・子どもまつり」については協賛金の獲得増加に努める必要がある。「成人を祝うつどい」については、実行委員数増加に向けて、PRに努める。いずれの施策においても、新型コロナウイルス対策を行う必要がある。</p>	
【今後の具体的な方針】	
<p>・公共施設マネジメントを推進する中であっても、施設の使いやすさ・借りやすさ等の向上を図ることにより利用者増に繋がるとともに、多世代の区民や様々な活動団体が交流できる仕組み(機会)を構築し、協働のネットワークを広げていくというソフト面の「場」づくりを進めるなど、地域コミュニティのつながり・厚みづくりを進めていく。</p> <p>・「すみだまつり・子どもまつり」については新規企業の協賛募集をPRし、既存企業に対しても増額に努める。「成人を祝うつどい」については実行委員の募集方法を改善し、更なる人材の確保を図る。また、いずれの施策においても、新型コロナウイルス感染が拡大しないように、イベントの運営方法や手段を改めて検討する。</p>	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
				評価対象年度		
1	本所地域プラザ管理運営	58,126	3,495	61,621	72	現状維持
					84.5	令和元年度
2	八広地域プラザ管理運営	76,982	3,495	80,477	87	改善・見直し(効果測定)
					79.2	令和元年度
3	すみだまつり・こどもまつり 事業	23,525	15,728	39,253	30	現状維持
					30	令和元年度
4	成人を祝うつどい事業	5,130	8,738	13,868	62	現状維持
					63	令和元年度
5	町会・自治会会館建設等補助	16,711	2,621	19,332	19	改善・見直し(効果測定)
					21	令和元年度
6	みどりコミュニティセンター 管理運営	49,220	2,621	51,841	66.6	現状維持
					66	令和元年度
7	コミュニティ会館管理運営委 託	443,024	6,117	449,141	85	現状維持
					71	令和元年度
8	地域集会所管理運営	62,490	4,369	66,859	74	改善・見直し(効果測定)
					77	令和元年度
9	地区会館管理運営	4,115	2,621	6,736	74	改善・見直し(効果測定)
					58	令和元年度
10	墨田まちづくり公社コミュニ ティ補助	27,367	1,748	29,115	74	改善・見直し(効果測定)
					60.9	令和元年度
11	墨田まちづくり公社補助	1,655	1,748	3,403	11	改善・見直し(効果測定)
					10	令和元年度
12	旧健康ハウス維持管理	7,100	3,495	10,595	—	廃止
					—	令和元年度
13	旧生涯学習センター別館維 持管理	2,878	1,748	4,626	—	廃止
					—	令和元年度

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	利用率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		64	令和7年度	目標	50	55	58	62
				実績	57.2	60.6	60.0	57.2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	62	62	64	64	64	64	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	利用者ニーズを数字として確認することができる。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	利用者アンケートにおいて、「今後も利用する」と回答した人の割合				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
90		令和7年度	目標	60	64	68	72	
			実績	54	82.7	88.9	84.5	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	76	79	82	85	88	90		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
継続利用者を増やすことにより、利用者の交流・活動拠点としての利用を促す必要があるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	利用率が向上してきており、地域のコミュニティ活動等の場として根付いてきている。 今後も、効果的な施設運営を行うことにより、地域プラザが区民等の交流及びコミュニティ活動の拠点となるよう支援していく。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・施設認知度の上昇及び事業等の充実により、施設利用率が上昇している。今後は、現在の稼働率を維持するため、さらなる利用者サービスの向上が求められる。 ・区民以外の利用者が増加しているため、区民の利用促進ニーズにあった事業展開や利用者が固定しないような事業の工夫が必要である。 ・地域住民からなる法人による管理・運営であることから、施設の運営にあたり、区が指導・支援していく必要がある。

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	本館利用率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		64	令和7年度	目 標	40	45	50	52
				実 績	36.8	38.9	40.7	39.3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	54	56	58	60	62	64	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	利用率が向上することで、地域の方々や地域団体に必要とされる施設であることを確認できるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	利用者アンケートにおいて「今後も利用する」と回答した方の割合				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
90		令和7年度	目 標	85.5	86	86.5	87	
			実 績	87.4	86.8	79.3	79.2	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	87.5	88	88.5	89	89.5	90		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
継続利用者の増加は、地域プラザが地域活動の拠点として有効に活用されていることを確認できるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	地域住民が主体となる「一般社団法人 吾嬬の里」が現指定管理者であることから、地域ニーズに基づいた管理・運用が行われている。地域プラザが区民等の交流及びコミュニティ活動の拠点となるよう継続的に支援するとともに、本館の稼働率向上に向けて、対策を弾力的に講じていく。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・本館の利用率向上のため、地域ニーズにあった事業展開への工夫が必要である。 ・地域住民による管理運営となって5年目であるが、施設の運営にあたり、区が指導・支援していく必要がある。 ・体育館の老朽化が進んでいるため、計画的に修繕していく必要がある。

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	年一回の開催				単 位	回数
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	R7	目 標	1	1	1	1
				実 績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	1	1	1	1	1	
		実 績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	広く区民に親しまれている「すみだまつり・こどもまつり」を安心・安全に実施し、今後も継続していく。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	来場者数				単 位	万人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
なし			目 標	なし	30	30	30	
			実 績	29	28	30	30	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目 標	30	30	30	30	30		
	実 績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
来場者数に応じ、「すみだまつり・こどもまつり」の浸透度が確認できる。より多くの方に「すみだまつり・こどもまつり」に参加してもらうことで、地域力が高まることが期待される。しかし、来場者数は天気に左右されることや右肩上がりになっていくことは考えにくいので、一定の来場者数(30万人)を目標値とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	更なる経費節減と協賛金の獲得増に努めるとともに、新たな企画の検討・内容の見直しを行い、より魅力のある事業としていく。

課題・問題点
<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、入念な対策を行う必要がある。 2 墨田区内の企業等は、依然として厳しい経営環境が続いており、新たな協賛収入の確保が難しい状況にある。協賛金獲得増に努めているが、毎年協賛金が減少傾向にある。 3 実行委員が高齢化しており、新規の実行委員を開拓する必要がある。

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	年一回の開催				単位	回数
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	R7	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	広く区民に親しまれている「すみだまつり・こどもまつり」を安心・安全に実施し、今後も継続していく。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	来場者数				単位	万人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		なし		目標	なし	30	30	30
				実績	29	28	30	30
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		30	30	30	30	30	30	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
来場者数に応じ、「すみだまつり・こどもまつり」の浸透度が確認できる。より多くの方に「すみだまつり・こどもまつり」に参加してもらうことで、地域力が高まることが期待される。しかし、来場者数は天気に左右されることや右肩上がりに上がっていくことは考えにくいいため、一定の来場者数(30万人)を目標値とする。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		更なる経費節減と協賛金の獲得増に努めるとともに、新たな企画の検討・内容の見直しを行い、より魅力のある事業としていく。						

課題・問題点	
<p>1 新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、入念な対策を行う必要がある。</p> <p>2 墨田区内の企業等は、依然として厳しい経営環境が続いており、新たな協賛収入の確保が難しい状況にある。協賛金獲得増に努めているが、毎年協賛金が減少傾向にある。</p> <p>3 実行委員が高齢化しており、新規の実行委員を開拓する必要がある。</p>	

施 策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす	部内優先順位
事 業 名	成人を祝うつどい事業		4
目 的	新成人の今後の活躍を願い、社会の一員としての自覚と責任を促すとともに、これを祝い励ます。また、大人の仲間入りをともに喜び合える場を提供する。		主管課・係（担当）
			文化芸術振興課 文化行事担当 03-5608-6181
対 象 者	平成12年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた墨田区民(外国人住民含む)		
根拠法令 関連計画			
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 職員3人、会計年度任用職員1人
事業内容	<p>“新成人の手による成人式を実施すること”を目的として「実行委員会」を立ち上げ、実行委員がテーマ策定、記念品選定、アトラクションの企画及び当日の運営までを行っている。</p> <p>1 会 場 すみだトリフォニーホール 大ホール(墨田区錦糸一丁目2番3号) 2 記念品 墨田区地場産業製品 3 当日プログラム (1)事前アトラクション (2)開会のことば・励ましのことば・お祝いのことば (3)メインアトラクション (4)記念コンサート (5)閉会のことば・合唱</p>		
経 過	開始年度	昭和31年	終了予定
	<p>昭和24年 成人の日制定 昭和31年 墨田区において、第1回「成人はたちのつどい」開催 平成10年頃から新成人による歓談会開催 平成13年度から新成人の実行委員による企画・運営する実行委員会方式を採用</p>		
議会質問 の 状 況	<p>1 私立中学校へ進学した人たちは、式典に参加しにくい状況ではないか。 区公式HPや、区SNSなどで、私立中学校卒業者も積極的に参加を促す対応を行う。</p> <p>2 成人年齢引き下げの対応について、墨田区としての考えを早い段階で示してほしい。 現状23区は同日に実施していることもあり、他区とも情報交換を行いながら検討していく。</p>		
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		4,736	4,736	6,164	4,979	5,211	5,309
決算額(令和元年度は見込み)		4,529	4,537	5,914	4,805	5,130	5,309
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		4,529	4,537	5,914	4,805	5,130	5,309
執行率(%)		95.6%	95.8%	95.9%	96.5%	98.4%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
旅費		5	旅費		5	旅費		10
需用費		1,996	需用費		2,091	需用費		2,163
役務費		127	役務費		127	役務費		141
委託料		2,030	委託料		2,223	委託料		2,289
使用料及び賃借料		650	使用料及び賃借料		684	使用料及び賃借料		706

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	式典参加人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,200	37	目 標	1,200	1,200	1,200	1,200
				実 績	1,171	1,174	1,297	1,343
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	式典参加人数に応じ 式典が新成人にとって共感できる内容であったかどうかを確認できるため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	式典参加率				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
65		37	目 標	60	61	61	62	
			実 績	56	55	61	63	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	62	63	63	64	64	65		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
式典参加率が、新成人としての自覚を持っているかの指標となるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	本事業の成否は実行委員の力量によるところも大きいので、実行委員の人材確保に努め、より魅力的な事業としていく。

課題・問題点
1 新型コロナウイルス感染症を考慮し、安全に式典が実施できるように対策を行う。 2 成人を祝うつどい実行委員を毎年安定的に確保するのが難しい。 3 式典参加者を増加させるなど事業の充実を図るためには、相応の経費が必要となる。 4 成人年齢引き下げによる式典の対応。国の動向に着目し、他の市区町村と情報共有を行っていく必要がある。

事業の果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	補助可能件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		19	令和7年度	目標	19	19	19	19
				実績	19	19	19	19
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	19	19	19	19	19	19	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	申請に対する補助事業なので、活動指標として事業規模を表す補助可能件数とした。目標値を補助可能件数としたのは事業規模に変更があった際にその増減を確認することができるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	補助件数				単位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
19		令和7年度	目標	19	19	19	19	
			実績	13	12	9	21	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	19	19	19	19	19	19		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
申請に対する補助事業なので予算の執行率では成果を判断できないため補助件数を指標とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	町会・自治会活動の拠点である町会会館の安定的維持のための本助成制度は、地域コミュニティの核としての町会・自治会の支援を図る上で、今後とも継続していく。

課題・問題点
多くの町会・自治会会館において老朽化が進んでおり、中には早急な修繕が必要となるケースがある。その一方、会館の建設等には莫大な金額がかかり、本補助金を使用しても町会・自治会の負担は総費用の50%以上となることもある。町会・自治会によっては会館に対する基金を設けているところもあるが、予期せぬ事態が生じても資金がないためにすぐに対応できない場合もあるため、こういったケースへの対応方法についても検討していく必要がある。

補助金名称	町会・自治会会館建設等補助金		主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区町会・自治会会館建設等補助金交付要綱		地域活動推進課地域活動推進担当
補助概要	町会・自治会が設置する町会・自治会会館の建設等（新築、増築、改築、修繕、模様替え、建物・土地の購入等）に要する経費の一部を補助金として交付している。		03-5608-3661
目的	町会・自治会活動の拠点となる施設を確保することにより、町会・自治会活動の活性化や良好なコミュニティの形成等を促進する。		
対象	町会・自治会（全170団体）		
基準	区独自基準		
補助条件	<p>補助金額：建物の新築・購入及び土地の購入は上限1,000万円、その他修繕等は上限500万円（費用の2分の1補助、一団体の交付金額の上限は1,000万円、その他一度交付した金額は5年間申請不可など一定の制約あり）</p> <p>交付対象会館</p> <p>（1） 延べ面積（増築の場合は増築後の延べ面積）が原則として50平方メートル以上であること。</p> <p>（2） 町会等において、自主的に管理運営されるものであること。</p> <p>（3） 維持管理等に要する経費は、町会等で負担するものであること。</p> <p>（4） 集会等広く地域住民の利用に供されるものであること。等</p>		
経過	開始年度	昭和57年度	終了予定
	<p>昭和57年4月 事業開始</p> <p>平成15年1月 不燃化加算を廃止</p> <p>平成17年10月 土地等価交換による会館取得の場合も対象に追加</p> <p>平成21年4月 用地取得費も対象に追加</p> <p>平成28年4月 耐震診断費用、借地権利金初期費用も対象に追加</p> <p>令和2年4月 建物新築・購入及び土地購入経費に対する助成上限額を500万円から1,000万円へ増額</p>		
議会質問の状況	町会・自治会会館建設等補助金について、当区の補助金額は他区に比べて低い。なるべく早く上限を上げて欲しい。（31年予特） 令和2年4月以降、建物新築・購入及び土地購入経費に対する助成上限額を500万円から1,000万円へ増額した。		
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）		

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算額（事業費）		20,000	27,000	27,000	25,460	23,000	32,018
決算額（令和元年度は見込み）		5,198	15,807	8,223	5,722	12,515	32,018
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		5,198	15,807	8,223	5,722	12,515	32,018
執行率（％）		26.0%	58.5%	30.5%	22.5%	54.4%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助可能件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		9	R7	目標	9	9	9	9
				実績	9	9	9	9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	9	9	9
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	申請に対する補助事業なので、活動指標として事業規模を表す補助可能件数とした。目標値を補助可能件数としたのは事業規模に変更があった際にその増減を確認することができるため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	補助件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		9	R7	目標	9	9	9	9
				実績	5	5	3	6
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		9	9	9	9	9	9	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
申請に対する補助事業なので予算の執行率では成果を判断できないため補助件数を指標とした。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		町会・自治会活動の拠点である町会会館の安定的維持のための本助成制度は、地域コミュニティの核としての町会・自治会の支援を図る上で、今後とも継続していく。						

課題・問題点	
<p>多くの町会・自治会会館において老朽化が進んでおり、中には早急な修繕が必要となるケースがある。その一方、会館の建設等には莫大な金額がかかり、本補助金を使用しても町会・自治会の負担は総費用の50%以上となることもある。町会・自治会によっては会館に対する基金を設けているところもあるが、予期せぬ事態が生じて資金がないためにすぐに対応できない場合もあるため、こういったケースへの対応方法についても検討していく必要がある。</p>	

補助金名称	町会・自治会会館福祉関連施設等整備補助金		主管課・係（担当）			
根拠法令	墨田区町会・自治会会館施設整備補助金交付要綱			地域活動推進課地域活動推進担当		
補助概要	高齢者や障がい者の利便を図るため、町会・自治会が設置する町会・自治会会館の施設整備に要する経費の一部を補助金として交付している。			03-5608-3661		
目的	町会・自治会活動の拠点となる施設について、高齢者や障がい者でも利用しやすい環境を確保することにより、町会・自治会活動の活性化や良好なコミュニティの形成等を促進する。					
対象	町会・自治会（全170団体）					
基準	区独自基準					
補助条件	補助金額：費用の全額、上限50万円（一度交付した金額については、5年間は申請不可） 交付対象会館 (1) 町会等において、自主的に管理されるものであること。 (2) 集会等広く地域住民の利用に供されるものであること。					
経過	開始年度	平成4年度	終了予定			
	平成4年7月 事業開始 平成11年7月 冷暖房機の購入費も対象に追加 平成29年3月 高齢者及び障害者等の利便を図る範囲内での備品の購入費も対象に追加					
議会質問の状況						
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算額（事業費）		5,000	4,952	5,000	5,000	5,000	5,003
決算額（令和元年度は見込み）		4,000	3,464	2,562	2,206	4,196	5,003
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		4,000	3,464	2,562	2,206	4,196	5,003
執行率（％）		80.0%	70.0%	51.2%	44.1%	83.9%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	補助可能件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10	R7	目標	10	10	10	10
				実績	10	10	10	10
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	10	10	10	10
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	申請に対する補助事業なので、活動指標として事業規模を表す補助可能件数とした。目標値を補助可能件数としたのは事業規模に変更があった際にその増減を確認することができるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	補助件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10	R7	目標	10	10	10	10
				実績	8	7	6	15
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		10	10	10	10	10	10	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
申請に対する補助事業なので予算の執行率では成果を判断できないため補助件数を指標とした。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		町会・自治会活動の拠点である町会会館の安定的維持のための本助成制度は、地域コミュニティの核としての町会・自治会の支援を図る上で、今後とも継続していく。						

課題・問題点	
<p>本助成制度については、補助対象となるもの、補助対象外となるものについての区分が町会・自治会にとって分かりにくくなっている。今後、区でも要綱の内容と合わせて、周知方法等を検討し、利用者にとって活用しやすい制度にしていく必要がある。</p>	

事業 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		80	令和7年度	目標	60	62.3	64.5	66.7
				実績	64.8	64.1	61	62.5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	69	71.2	73.4	75.6	77.8	80	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	地域の活動の場としての役割を達成しているかの確認となるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	イベント・講座満足度4～5の方(5段階評価)の割合				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
80		令和7年度	目標	60	62.2	64.4	66.6	
			実績	59.6	41.9	50	66	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	68.8	71	73.2	75.5	77.7	80		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
地域住民の意見や要望にあった施設運営が出来ているかどうかの確認となるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区南部においては、類似施設が少ないため、区民のニーズは高い。また、同様の理由より代替の可能性は低く、地域コミュニティの場として必要な施設である。

課題・問題点
区南部のコミュニティ施設の核として、アンケート等で集約した利用者ニーズを取り入れた事業展開を図り、利用者満足度を高めていく。

施 策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす			部内優先順位	
事 業 名	コミュニティ会館管理運営委託				7	
目 的	地域住民のコミュニティの形成と発展及び教養と文化の向上並びに児童の健全な育成を図る。				主管課・係（担当）	
					地域活動推進課地域稼働推進担当	
対 象 者	コミュニティ会館利用者				03-5608-6200	
根 拠 法 令	墨田区コミュニティ会館条例					
関 連 計 画	墨田区コミュニティ会館条例施行規則					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法		人員体制・委託先	常勤2 指定管理者:その他特記事項参照	
事 業 内 容	<p>施設概要 地域集会室、図書室、遊戯室、音楽室、学童クラブ室等 施設の管理運営等 コミュニティ会館3館の管理運営について指定管理者が担うとともに、図書の購入など区が実施する。</p>					
経 過	開始年度	昭和57年度		終了予定		
	昭和57年5月 東駒形コミュニティ会館開設 昭和63年4月 梅若橋コミュニティ会館開設 平成7年4月 横川コミュニティ会館開設 平成27年4月 横川コミュニティ会館、指定管理者制度を導入 平成28年4月 東駒形コミュニティ会館及び梅若橋コミュニティ会館、指定管理者制度を導入					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 指定管理者: 横川コミュニティ会館:ソシオーク、テルウェル、東武ビルマネジメント共同企業体 東駒形コミュニティ会館:東駒形TRC賀川記念館グループ 梅若橋コミュニティ会館:梅若橋あすのすみだ					

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額（事業費）		552,751	406,498	420,200	454,842	452,630	446,054
決算額（令和2年度は見込み）		503,232	400,473	416,266	442,311	443,024	446,054
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		503,232	400,473	416,266	442,311	443,024	446,054
執行率（％）		91.0%	98.5%	99.1%	97.2%	97.9%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成30年度（決算）			令和元年度（決算）			令和2年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	管理運営委託経費等	376,733	委託料	管理運営委託経費等	379,390	委託料	管理運営委託経費等	411,211
使用料賃借料	空調機の借上げ等	11,593	使用料賃借料	空調機の借上げ等	11,522	使用料賃借料	空調機の借上げ等	7,759
負担金補助交付金	有線情報システム負担金等	33,495	負担金補助交付金	有線情報システム負担金等	4,761	負担金補助交付金	有線情報システム負担金等	5,015
需用費等	図書の購入等	20,110	需用費等	図書の購入等	19,258	需用費等	図書の購入等	20,816
工事請負費	施設維持費	380	工事請負費	施設維持費	28,093	工事請負費	施設維持費	1,253

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	予算執行率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		99	令和7年度	目 標	99	99	99	99
				実 績	98.5	99.1	97.2	97.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	99	99	99	99	99	99	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	計画的に予算を執行し、適切に施設の維持管理を行うことが重要であるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	イベント・講座満足度4～5の方(5段階評価)の割合				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
85		令和7年度	目 標	85	85	85	85	
			実 績	83.3	84.1	72	71	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	85	85	85	85	85	85		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
施設利用者の満足度が高まることで、施設の維持管理が適切に行われていることが確認できるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	アンケート結果により各事業に対する利用者ニーズは高く、近隣で同様のコミュニティ施設がないため代替性はなく、引き続き地域コミュニティの活性化及び児童の健全育成等に資する施設として必要である。

課題・問題点
地域コミュニティの活性化や児童の健全育成等に関する施設であり、今後もその一助としての役割を担うべき施設であるが、各施設とも経年に伴う修繕を必要とする箇所があり、施設の劣化に伴い満足度も頭打ちの傾向にある。

施 策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす	部内優先順位
事 業 名	地域集会所管理運営		8
目 的	地域コミュニティの活動を促進するため、区民が気軽に交流・活動できる場を確保する。		主管課・係(担当)
			地域活動推進課地域活動推進担当 03-5608-6200
対 象 者	地域集会所利用者		
根拠法令 関連計画	墨田区地域集会所設置条例・墨田区地域集会所の管理運営に関する条例 墨田区地域集会所の管理運営に関する条例施行規則		
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 常勤2、指定管理者:一般財団法人墨田まちづくり公社
事業内容	<p>地域住民の健康で文化的なコミュニティの形成及び発展を図るため、地域住民の活動の場として地域集会所を設置している。</p> <p>一般財団法人墨田まちづくり公社が指定管理者・業務受託者として19施設(東駒形・梅若橋・横川集会所を除く)を管理運営している。</p> <p>(1)指定管理者委託(18施設) 立川・寺島・千歳・八広中央・曳舟・押上・東向島 八広一丁目・東墨田うめぞの・横川三丁目・江東橋・一寺言問 業平三丁目・立花四丁目・京島第一・京島第二・なりひら神明橋・太平四丁目</p> <p>(2)業務委託(1施設) 東あずま公園集会所</p>		
経 過	開始年度	昭和57年	終了予定
	<p>昭和57年4月 上記条例及び規則施行</p> <p>平成18年4月 指定管理者制度導入 指定管理者:一般財団法人墨田まちづくり公社(非公募3年) 業務委託者:一般財団法人墨田まちづくり公社(年間契約、東あずま公園集会所)</p> <p>平成25年4月 八広あおぎり及び八広はなみずき集会所廃止</p> <p>平成25年10月 外手集会所廃止</p> <p>平成28年4月 墨田集会所廃止</p> <p>平成29年4月 西あずま集会所廃止</p>		
議会質問 の 状 況	<p>貸出区分「午後」の二分割について H31.4月から業平三丁目集会所で、R元.10月から寺島集会所で、「午後」の二分割の実施を試行している。</p> <p>地域集会所の使用料(利用料金)について R2.6月議会において、地域集会所の料金体系の見直しについて報告のもと、R2.9月議会に改正条例の提案を予定している。</p>		
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		54,112	32,324	35,529	121,934	68,357	36,861
決算額(令和2年度は見込み)		52,094	30,845	33,559	106,774	62,490	36,861
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		52,094	30,845	33,559	106,774	62,490	36,861
執行率(%)		96.3%	95.4%	94.5%	87.6%	91.4%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	指定管理料	27,008	委託料	指定管理料	28,464	委託料	指定管理料	27,341
委託料等	空気環境測定等	300	工事請負費	長期修繕費用	33,090	工事請負費	長期修繕費用	4,346
工事請負費	長期修繕費用	77,817	工事請負費	事後修繕費用	216	工事請負費	事後修繕費用	4,454
工事請負費	事後修繕費用	528	負担金補助及び交付金	管理負担金	720	負担金補助及び交付金	管理負担金	720
負担金補助及び交付金	管理負担金	720						

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		30	令和7年度	目標	30	30	30	30
				実績	21	23	24	21
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	30	30	30	30	30	30	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	平成29年度の貸出し可能枠は約32,000枠							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	利用者の満足度				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
80		令和7年度	目標	70	72	73	74	
			実績	64.6	68	71	77	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	75	76	77	78	79	80		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
地域コミュニティ活動の拠点たる施設の設置目的を鑑みると、地域の利用者の満足度を高め、継続的に利用してもらうことが重要であるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	利用者の利便性と施設の稼働率を向上させるため、料金体系や利用区分等 の見直しを図る。 まちづくり公社のあり方検討を踏まえ、管理運営体制の見直し等を検討して いく。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ活動の拠点として利用されているが、利用件数・利用者数ともに施設の有効活用を図る必要がある。 ・現在、施設の管理は、地域の運営協議会と指定管理者である墨田まちづくり公社が協力して行っている。墨田まちづくり公社の「段階的なコミュニティ事業からの撤退」という考え方が示されたことにより、従来の管理運営方法を見直していく必要がある。

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		17000	令和7年度	目 標	17000	17000	17000	17000
				実 績	16105	14502	13090	13478
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	17000	17000	17000	17000	17000	17000	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	コミュニティサロン(長寿室)を中心に、区民が気軽に交流できる場を提供する。貸出し枠を設定していないため、稼働率の算出はしていない。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	利用者の満足度				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
80		令和7年度	目 標	70	72	73	74	
			実 績	65	68	71	58	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	75	76	77	78	79	80		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
地域コミュニティ活動の拠点たる施設の設置目的を鑑みると、地域の利用者の満足度を高め、継続的に利用してもらうことが重要であるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	施設の老朽化等を踏まえ、向島言問会館については、令和3年3月31日をもって廃止する予定である。

課題・問題点
<p>利用者の固定化と高齢化が進んでいる。 地域コミュニティ施設として、地域住民の福祉の増進への寄与が限定的である。</p>

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	コミュニティ事業参加者				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		26000	令和7年度	目 標	26000	26000	26000	26000
				実 績	25403	24134	21833	19792
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	26000	26000	26000	26000	26000	26000	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	旧家庭センターの閉館に伴い、区民から強い要望があった4事業を継続して実施している。 旧長寿室の廃止が続き、事業参加者が減少している。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	コミュニティ事業参加者の満足度				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
80		令和7年度	目 標	70	72	73	74	
			実 績	64.7	70.3	71.2	60.9	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	75	76	77	78	79	80		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
参加者の趣味を活かし生き甲斐を高める事業のため、参加者の満足度は高いと思われる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	まちづくり公社のあり方検討等を踏まえ、事業の内容や所管を、まちづくり公社と協議調整していく。

課題・問題点
旧家庭センターの閉館に伴い区民から強い継続要望があった事業であるが、参加者の固定化と高齢化が進み、地域社会や区民等へ波及効果は限定的である。 事業の実施場所である、向島言問会館では廃止、曳舟文化センターでは改修工事が予定されていること等に鑑み、事業を見直していく必要がある。

補助金 名称	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金		主管課・係（担当）		
根拠法令	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金交付要綱		地域活動推進課地域活動推進担当		
補助概要	墨田まちづくり公社コミュニティ事業費 旧家庭センターのコミュニティ事業を、一般財団法人墨田まちづくり公社が引き継いで実施するにあたり、その経費を補助する。		03-5608-6200		
目的	地域コミュニティの形成				
対象	一般財団法人墨田まちづくり公社が行う地域コミュニティの形成に資する事業に要する経費				
基準	区独自基準				
補助条件					
経過	開始年度	平成28年度	終了予定		
	事業実施状況	元年度	30年度	29年度	28年度
	コミュニティカレッジ	979人（17回）	733人（17回）	766人（17回）	776人（17回）
	生きがい趣味の教室	2,396人（229回）	2,314人（246回）	1,664人（222回）	1,812人（200回）
	生きがい趣味の教室発表会	245人（2回）	200人（2回）	200人（2回）	220人（2回）
	コミュニティサロン	15,772人	18,186人	21,104人	22,171人
	コミュニティサロン利用者のつどい	400人（1回）	400人（1回）	400人（1回）	424人（1回）
議会質問 の状況					
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）				

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算額（事業費）			30,100	30,219	32,146	31,390	30,655
決算額（令和2年度は見込み）			27,995	29,220	32,146	27,367	30,655
財源	国						
	都			8,821	9,329	11,050	11,457
	その他						
一般財源		0	27,995	20,399	22,817	16,317	19,198
執行率（％）		#DIV/0!	93.0%	96.7%	100.0%	87.2%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	コミュニティ事業参加者				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		26000	H37 (R7)	目標	26000	26000	26000	26000
				実績	25403	24134	21833	19792
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	26000	26000	26000	26000	26000	26000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	旧家庭センターの閉館に伴い、区民から強い要望があった4事業を継続して実施している。 旧長寿室の廃止が続き、事業参加者が減少している。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	コミュニティ事業参加者の満足度				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		80	37	目標	70	72	73	74
				実績	64.7	70.3	71.2	60.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	75	76	77	78	79	80
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
参加者の趣味を活かし生き甲斐を高める事業のため、参加者の満足度は高いと思われる。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		まちづくり公社のあり方検討等を踏まえ、事業の内容や所管を、まちづくり公社と協議調整していく。						

課題・問題点	
<p>旧家庭センターの閉館に伴い区民から強い継続要望があった事業であるが、参加者の固定化と高齢化が進み、地域社会や区民等へ波及効果は限定的である。</p> <p>事業の実施場所である、向島言問会館では廃止、曳舟文化センターでは改修工事が予定されていること等に鑑み、事業を見直していく必要がある。</p>	

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	公社所有集会所の利用人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		27,000	令和7年度	目 標	25000	25000	25000	25000
				実 績	24948	25830	26361	23641
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	26000	26000	26000	27000	27000	27000	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	公社所有集会所は交通至便な立地に加え、地域集会所よりも低廉な料金設定となっており、更なる利用人数の増加が期待できる。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	公社所有町会会館の管理実績				単 位	館
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
8		令和7年度	目 標	12	12	11	11	
			実 績	12	11	11	10	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	10	10	9	9	8	8		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
町会・自治会の法人化により、墨田まちづくり公社から町会・自治会に返還する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	まちづくり公社のあり方検討等を踏まえ、管理運営体制の整理を図る。

課題・問題点
<p>公社所有集会所は、地域集会所と同様に利用できる集会施設として区民のニーズが高い。 公社所有町会会館は、町会・自治会の安定した運営に寄与しているが、町会・自治会の法人化を進め、自立を図る必要がある。</p>

補助金 名称	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金		主管課・係(担当)			
根拠法令	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金交付要綱		地域活動推進課地域活動推進担当			
補助概要	一般財団法人墨田まちづくり公社が、公社所有集会所の管理運営と、公社所有町会会館の維持管理を実施するにあたり、その経費について補助金を交付する。		03-5608-6200			
目的	地域コミュニティの活動を促進するため、区民が気軽に交流・活動できる場を確保する。					
対象	一般財団法人墨田まちづくり公社が行う、コミュニティ施設の取得及び管理運営(墨田区から受託したコミュニティ施設に係るものを除く。)事業に要する経費					
基準	区独自基準					
補助条件						
経過	開始年度	昭和58年度	終了予定			
	公社所有集会所(2施設) : 吾妻橋会館(H1.12月)、両国駅前会館(S57.8月) 公社所有町会会館(10施設) : 小梅二丁目会館(S58.5月)、向島四丁目南会館(S59.9月)、隅田西会館(S60.9月) 立花五丁目会館(S63.2月)、緑三丁目会館(H1.10月) 押上一丁目仲会館(H2.2月)、亀沢一丁目会館(H2.10月)、 押上三丁目仲成会館(H2.12月)、中川会館(H3.3月)、東向島百花会館(H4.4月) 令和2年2月に、小梅一丁目会館は町会へ返還された。					
議会質問 の状況						
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算額(事業費)		7,331	7,065	6,883	6,733	6,734	6,665
決算額(令和2年度は見込み)		2,123	4,109	1,548	6,733	1,655	6,665
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		2,123	4,109	1,548	6,733	1,655	6,665
執行率(%)		29.0%	58.2%	22.5%	100.0%	24.6%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	公社所有集会所の利用人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		27,000	H37(R7)	目 標	25000	25000	25000	25000
				実 績	24948	25830	26361	23641
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	26000	26000	26000	27000	27000	27000
		実 績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	公社所有集会所は交通至便な立地に加え、地域集会所よりも低廉な料金設定となっており、更なる利用人数の増加が期待できる。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	公社所有町会会館の管理実績				単 位	館
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		8	H37(R7)	目 標	12	12	11	11
				実 績	12	11	11	10
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目 標		10	10	9	9	8	8	
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
町会・自治会の法人化により、墨田まちづくり公社から町会・自治会に返還する。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		まちづくり公社のあり方検討等を踏まえ、管理運営体制の整理を図る。						

課題・問題点	
<p>公社所有集会所は、地域集会所と同様に利用できる集会施設として区民のニーズが高い。 公社所有町会会館は、町会・自治会の安定した運営に寄与しているが、町会・自治会の法人化を進め、自立を図る必要がある。</p>	